

観光スポットにおけるメインディッシュと 散策用の前菜やデザートを選定を支援するシステム

尾上 典弘, 高山 毅

尾道市立大学経済情報学部

1. はじめに

近年, CT-Planner[1]のような, 観光プランの作成を支援するシステムの開発が活発化している. しかし, それらは周遊ルートまで決定してしまうものが支配的で, 観光当日の天候や気分, 使える時間長の変動に対応して自由に散策を行う事に適しているとは言えない. 本稿では, 観光エリアまで指定すると, メインディッシュとなる観光スポットを, 表示された候補群から選定でき, それに見合った前菜やデザートにあたる観光スポットをも, 別途表示された候補群から選定できる, 計画を限定し過ぎずに散策の支援を行うシステムを開発する. 提案システムは, 「i)メインディッシュや前菜/デザートと言える観光スポットの地図表示機能」や, 「ii)メインディッシュからの許容距離指定機能」, 「iii)カテゴリごとの検索機能」を用いて, 観光当日の状況を踏まえて柔軟に散策を行うことを可能にする.

2. 先行研究

本来「散策」とは, 目的もなくぶらぶら歩くことであるが, 相らは散策を「主目的ではない観光行動」と定義している[2]. 本稿では後者の定義を用いる. 次に, 文献[3]では写真と位置情報を用い, 散策に重点を置いた観光支援システムを開発している. しかし, 「複雑な操作が多い」「被験者が使用しなかった機能がある」などの問題点が挙げられた.

3. 散策用スポット選定支援システムの提案

本稿では, 観光においてメインディッシュ/前菜/デザートにあたるスポットを選定し, 散策を支援するシステムを開発する. この時, あえてルートを設定しないことで, ユーザが観光スポット間を自由

な道りで散策するのを支援することを目指す. 本システムは, 以下の3.1~3.4の4機能を持つ.

3.1 メインディッシュ選定支援機能

ユーザは, まず都道府県を指定する. するとメインディッシュになり得るスポットのリストが表示され, ユーザが「メインディッシュ」を選定できるようにする.

3.2 散策範囲の距離指定機能

ユーザはメインディッシュからの距離を指定できるようにし, その範囲から次の段階で前菜/デザートになるスポットを選定可能にする.

3.3 前菜/デザート選定支援機能

ユーザは, 前項の距離範囲内のスポット群から前菜/デザートにあたるスポットを選定する. すると, メインディッシュまでの直線距離・道のり距離を表示する.

3.4 カテゴリ別表示機能

データベースに登録されている観光スポットで, メインディッシュ周辺のスポットのみを, カテゴリ別にフィルタリングして表示する. 表示される内容は, 「所在地(県)」, 「関連性の高いメインディッシュ」, 「カテゴリ」, 「スポットについての簡単な説明」の4つとする.

3.5 試作システム

広島県, 秋田県, 鹿児島県, 茨城県を具体例として, 試作システムを開発した. 図1はその初期画面である. 左上から, 「1. 都道府県の選択」→「2. メインディッシュの選択」→「3. メインディッシュからの距離を指定」と進めると, 前菜/デザートの候補がそれぞれ選択可能になる(図2). 右上の「カテゴリ別にスポットを検索」から, カテゴリでの絞り込みを行うことも可能である. また, 選んだスポットを「Google Map」を用いて「地図表示」することも可能である. この地図には, ルートをあえて表示しておらず, ユーザは自由に散策して良い.

A support system selecting a main dish in tourist attractions, and appetizer and dessert for taking a walking

Norihiro Onoue, Tsuyoshi Takayama

Faculty of Economics, Management, and Information Science,
Onomichi City University

図1 初期画面.

図2 前菜/デザートの候補が提示されたところ.

4. 評価実験

以下, 3システムで3者比較する:

- I. 提案システム
- II. CT-Planner
- III. 提案システムから主要4機能を除去したもの

4.1 方法

各システムを用いて, メインディッシュとそこから指定した距離内での前菜/デザートを選定し, 紙に

理由付きで記入することを依頼する. また, カテゴリ名を指示し, それに従って同様の作業を依頼する. そして, 課題開始から終了までの, 作業時間を計測する. 最後に, 上記散策プランの作りやすさの満足度の記入を, 5段階で依頼する.

4.2 結果

提案システムが, 最も早く課題をこなすことができた(表1). 一方, 満足度の評価では, CT-Plannerが優勢となった.

表1 各システムの平均作業時間

システム	平均作業時間(単位=分)
I	7.18
II	10.53
III	9.06

表2 各システムの満足度

システム	満足度平均
I	3.18
II	3.35
III	2.65

5. 結論と今後の展望

本稿では, 観光スポットにおけるメインディッシュと散策用の前菜/デザートの選定を支援するシステムを提案・開発した. 評価実験の結果, 散策プランを効率的に作成できることが分かった. 今後は, データ量の拡充, 及び, ユーザインタフェースの改良などに取り組む予定である.

参考文献

[1]倉田陽平:CT-Planner, <http://ctplanner.jp>
 [2]相尚寿, 鍛冶秀規:ウェブアプリを用いた位置・速度・加速度情報の取得と観光情報配信の試み, 観光情報学会第16回研究発表会, pp. 36-39, 2017.
 [3]森貴哉, 伊藤淳子, 宗森純:目的地までの散策を重視した観光支援システムの開発, ヒューマンインタフェース学会研究報告集, Vol. 19, No. 2, pp. 79-84, 2017.